

目次

1. 寄稿 「環境的に持続可能な交通を目指して」(第2回)
「“環境的に持続可能な交通”を目指して」
【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会委員 甲斐 正彰】
2. 寄稿 「地方から全国に向けた情報発信！」(第2回)
「仙台の環境的に持続可能な交通への転換を目指して」
【仙台市都市整備局総合交通政策部交通政策課長 岩崎 裕直】
3. ニュース/トピック
平成18年度 国土交通省環境行動計画モデル事業の公募について【国土交通省】
環境的に持続可能な交通(EST)ポータルサイトを本日開設
【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局】
CNG車普及促進モデル地域として3地域を指定【国土交通省】
さっぽろシャワー通りリニューアルイベントを開催
【(財)北海道環境財団、環境省北海道地方環境事務所】
新たな駐車対策法制の施行後3ヶ月間の状況を公表【警察庁】
埼玉高速鉄道沿線で「パーク&ライド」実験始まる。
【首都圏パーク&ライド検討委員会】
神奈川県が電気自動車(EV)の普及構想を発表【神奈川県】
地域の大規模祭りの開催期間中にパーク&バスライドを試行【神奈川県秦野市】
都市部に広がりつつあるカーシェアリングを朝日新聞が紹介【朝日新聞9月9日夕刊】
地域交通づくりに関する書籍「エコモビリティ実現に向けて」を発行
【交通エコロジー・モビリティ財団】
4. イベント情報
第78回交通工学講習会(大阪) 交通まちづくり～世界から考える、地方から考える～
第3回LRT国際ワークショップ-ライトレール導入による人と環境に優しい街づくり
全国オムニバスサミット in 岡山
第8回全国路面電車サミット長崎大会
第22回国際電気自動車シンポジウム
フォーラム「公共交通の運賃の受渡し方法はどう変えるべきか？」
5. その他
記事募集中！

1. 寄稿 「環境的に持続可能な交通を目指して」(第2回)

「環境的に持続可能な交通」を目指して」

【環境的に持続可能な交通(E S T)普及推進委員会委員 甲斐 正彰】
(国土交通省総合政策局環境・海洋課長)

E S T(Environmentally Sustainable Transport)とは、欧州の経済協力開発機構(OECD)において1995年から検討が開始された、長期的な視野で環境面から持続可能な交通を踏まえて交通・環境政策を策定・実施する取組みで、地球温暖化に対し強い危機感を抱いている欧州諸国で主に取り組まれています。

国内においては、E S Tの実現に向けて、平成17年4月28日に閣議決定をされた京都議定書目標達成計画にも位置づけられるなど、特に、CO₂に関する地域の環境改善目標を設定した上で、地方自治体、交通事業者などあらゆる主体との連携が図られることが求められているため、運輸部門の地球温暖化対策の推進に向けた横断的取組みとして、国土交通省などの関係省庁が連携し、モデル事業を推進しています。

このE S Tモデル事業については、国土交通省環境行動計画モデル事業によって、平成16年度、平成17年度あわせて21地域を選定していますが、平成18年度においても、本日(締切:11月8日)より公募を開始する旨、国土交通省にてプレスリリースを行いました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/00/000927_.html

平成16年度においては、富山市における富山港線のLRT化やつくばエクスプレスの開業にあわせたバスネットワークの整備、豊田市におけるITSを活用した交通基盤整備などインフラを中心にした事業が多くみられましたが、平成17年度においては、上記に加えて新たに、大阪市など近畿圏を中心にモビリティ・マネジメント等の利用者に対する意識啓発を含めた、需要者側から考えた提案が増えています。

今後の地球温暖化対策に向けて、自家用自動車から公共交通機関への利用転換を図るなど、地域から発信される新たな取組みが平成18年度においても提案されることを大いに期待しています。

2. 寄稿 「地方から全国に向けた情報発信！」(第2回)

「仙台の環境的に持続可能な交通への転換を目指して」

【仙台市都市整備局総合交通政策部交通政策課長 岩崎 裕直】

仙台市は、「コンパクトシティー」や「百年の杜づくり」の実現に向けて、環境負荷の小さい交通への転換を目指し、平成16年度よりE S Tモデル事業に取り組んでいます。

本事業は、ひと・まち・環境にやさしい公共交通の実現に向けて策定した「アクセス30分

構想推進計画(市ホ-ムペ-ジ <http://www.city.sendai.jp/toshi/koutsukikaku/access30/>)」を基に、3年間で8,524tのCO2削減を目標に掲げていますが、本市の公共交通を取り巻く環境は厳しく、鉄道利用者は横ばい、バス利用者は減少を続けており、特にバスの利用促進が今課題となっています。このようことから、オムニバスタウン計画として「100円パッ区」の実施や「どこバス仙台(バスロケ)・PTPS」の導入など、バスサービス向上に関する様々な取り組みを展開していますが、さらなる利用促進に向けた戦略的な取り組みが必要と痛感しています。

一方で、本事業にも掲げている自転車について、近年、環境にやさしい手軽な交通手段として脚光を浴びています。しかしながら、自転車に関する事故の増加や迷惑走行、放置自転車など大きな問題もあります。そのようなことから本市では、「杜の都のまちなか自転車プラン(市ホ-ムペ-ジ <http://www.city.sendai.jp/toshi/kotsukeikaku/jitensya/machinaka.html>)」を17年度に策定し、今後10年間での取り組み等を定めました。今年度は、道路空間の安全性を高めるための自転車走行に関する社会実験を予定しており、「いつでも・誰でも・安全に・快適に・楽しく」乗ることができるまちへの一歩を進み始めたところです。

これからも、過度に自動車へ依存せず、公共交通や自転車など環境にやさしい交通による持続可能な杜の都の実現を目指し、頑張っていきたいと思います。

3. ニュース/トピック

平成18年度 国土交通省環境行動計画モデル事業の公募について【国土交通省】

平成16年度、平成17年度に引き続き、今年度も国土交通省環境行動計画モデル事業を募集します。現在、ESTモデル地域は21地域、同モデル事業によって選定されています。公募期間は9月27日(水)から11月8日(水)までです。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/00/000927_.html

環境的に持続可能な交通(EST)ポータルサイトを本日開設

【環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局】

21地域のモデル事業の紹介、関係省庁、各種団体の関連サイトへのリンクをご活用下さい。今後、データベースなども充実させていきます。

<http://www.estfukyu.jp/>

CNG車普及促進モデル地域として3地域を指定【国土交通省】

平成17年度はさいたま市、西宮市、横浜市、川崎市、中部国際空港の5地域を、平成18年度は6月に小牧市を指定し、今回新たに長岡市、柏市及び関西国際空港・りんくうタウンを指定しました。これにより、モデル地域は9地域となりました。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/09/090830_2_.html

さっぽろシャワー通りリニューアルイベントを開催

【(財)北海道環境財団、環境省北海道地方環境事務所】

9月2日(土)・3日(日)、リニューアルされた「さっぽろシャワー通り」の道路空間活用をリニューアルイベントとしてアピールするとともに、運輸部門における温室効果ガス削減を普及啓発するイベントが開催されました。

<http://www.estfukyu.jp/sapporoevent.html>

新たな駐車対策法制の施行後3ヶ月間の状況を公表【警察庁】

駐車違反取り締まりの民間委託等が施行されてからの3ヶ月間、1日当たりの駐車違反取り締まり件数は昨年平均より1割以上増え、違法駐車台数の減少、道路交通の円滑化等の効果が確認されました。警察庁は、東京都23区及び14政令指定都市の主要幹線道路約2,200kmを対象に交通円滑化による経済効果は年間約1,810億円、二酸化炭素排出削減効果は年間約15万2,000トンと試算しています。

<http://www.npa.go.jp/koutsuu/index.htm>

埼玉高速鉄道沿線で「パーク&ライド」実験始まる。

【首都圏パーク&ライド検討委員会】

国道4号、国道122号の都心に向かう車を対象に、リアルタイムな情報提供と複数のパーク&ライド専用駐車場の設置により、車から鉄道への転換を促すものです。実験期間は9月19日から11月30日までで、9月22日現在のモニター数は約280人です。

<http://pr.s-park.jp/pc/info.php?req=login>

神奈川県が電気自動車(EV)の普及構想を発表【神奈川県】

構想には、自動車メーカー、電力供給者、大手ユーザー、大学などとEV普及推進協議会(仮称)を結成すること、市販車投入(2008年頃と想定)後5年以内に県内3,000台の普及を目指すこと、街中で手軽に充電できるよう急速充電スタンドを150基整備することなどが盛り込まれています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/press/0609/29035/index.html>

地域の大規模祭りの開催期間中にパーク&バスライドを試行【神奈川県秦野市】

ESTの取組みの第一歩として、秦野たばこ祭の開催期間中(9月23日、24日)に

- 1)無料シャトルバス運行によるパーク&バスライド
- 2)従来無料だった来客駐車場の有料化

を試行しました。

<http://www.kankou-hadano.org/59tabakomatsuri/pandbr.html>

都市部に広がりつつあるカーシェアリングを朝日新聞が紹介【朝日新聞9月9日夕刊】

行政の後押しに加えて駐車場の確保の難しさ、燃料の高騰もあり、都市部を中心に広が
りつつあるようです。また、金沢市では 11 月からカーシェアリングとエコポイントを組み合わせた
実験が計画されています。愛知県も、10 月から県内の 2 つの地域（名古屋市金山駅
と豊橋市役所の周辺）でカーシェアリングの社会実験を始めます。

<http://www.asahi.com/car/news/TKY200609090222.html>

http://www.pref.aichi.jp/kankyo/gyousei/kisha/taiki/ondan060907/webpress_ondan060907.html

地域交通づくりに関する書籍「エコモビリティ実現に向けて」を発行

【交通エコロジー・モビリティ財団】

環境負荷の低減を図りつつモビリティの質にも配慮した地域交通(エコモビリティ)の実現
に向けて取組む地方公共団体や市民団体の方々向けの手引書です。具体的施策や計
画立案方法、財源確保のための補助制度、国内外の先進事例等について記述したも
のです。

http://www.ecomo.or.jp/traffic_work/traffic_press.html

4. イベント情報

第 78 回交通工学講習会(大阪) 交通まちづくり～世界から考える、地方から考える～

日時:2006 年 10 月 6 日(金)

場所:大阪科学技術センター 大ホール

主催:(社)交通工学研究会

<http://www.jste.or.jp/Event/kosyu78.pdf>

第 3 回 LRT 国際ワークショップ - ライトレール導入による人と環境に優しい街づくり

日時:2006 年 10 月 16 日(月)～18 日(水)

場所:京都市リサーチパーク

主催:独立行政法人交通安全環境研究所

http://www.ntsel.go.jp/LRT_WS/LRT_WS2006.htm

全国オムニバスサミット in 岡山

日時:2006 年 10 月 19 日(木)

場所:岡山コンベンションセンター

主催:岡山市

<http://www.city.okayama.okayama.jp/toshi/koutsuuseisaku/bussummit/index.htm>

第 8 回全国路面電車サミット長崎大会

日時:2006年10月20日～22日

場所:ホテルニュー長崎ほか

実施主体:第8回全国路面電車サミット長崎大会実行委員会

<http://nagaden.fc2web.com/samito.html>

第22回国際電気自動車シンポジウム

日時:2006年10月23日～28日

場所:横浜(パシフィコ横浜)

主催:財団法人日本自動車研究所

<http://www.evs22.org/jpn/index.html>

フォーラム「公共交通の運賃の受渡し方法はどう変えるべきか？」

日時:2006年11月1日

場所:川崎商工会議所2階講堂

主催:全国・路面電車ネットワーク、人と環境にやさしい交通をめざす協議会、
NPO 法人 / エコエネルギーによる地域交通システム推進協会

概要:信用乗車方式を社会的に成立させるための、制度的、法的、システム技術的な
条件を探り、その導入のための実践的、政策的な方策を求めるもの。

<http://www.areev.org/06-sept/forum-unchin-ukewatashi.htm>

5. その他

記事募集中!

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

E-mail: x x x x x (担当:市丸)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局
(交通エコロジー・モビリティ財団)

E-mail: x x x x x

EST ポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>